

Frequency 関数で度数分布表を作成

一覧表から度数分布表を作るのは、意外と手間がかかります。こんなとき、Frequency 関数を使うと、あっという間に集計できます。

1. エクセルでリストを作る

①まず、下のようないリストを作ります。

※名前などは、「なんちゃって個人情報」(<http://kazina.com/dummy/>) を使っています。

	A	B	C	D	E	F
1	陶芸教室					
2	7月の無料体験 体験者リスト					
3						
4	体験日	曜日	名前	ふりがな	性別	年齢
5	2日	土	酒井 光	さかい ひかる	男	41
6	2日	土	林田 幸子	はやしだ さちこ	女	70
7	3日	日	及川 光良	おいかわ てるよし	男	41
8	3日	日	真矢 美咲	まや みさき	女	34
9	3日	日	小野 秀隆	おの ひでたか	男	46
10	8日	金	杉本 優一	すぎもと ゆういち	男	44
11	8日	金	長崎 くるみ	ながさき くるみ	女	40
12	9日	土	唐沢 文世	からさわ ふみよ	女	44
13	10日	日	梅津 早紀	うめづ さき	女	45
14	10日	日	福島 未華子	ふくしま みかこ	女	22
15	14日	木	前田 一徳	まえだ いっとく	男	60
16	16日	土	氏家 雅之	うじいえ まさゆき	男	22
17	17日	日	宮下 陽子	みやした ようこ	女	53
18	17日	日	村上 右京	むらかみ うきょう	男	36
19	17日	日	三橋 結子	みはし ゆうこ	女	33
20	19日	火	佐古 建	さこ けん	男	65
21	20日	水	高井 由美子	たかい ゆみこ	女	44
22	20日	水	新垣 弘也	にいがき ひろなり	男	58
23	22日	金	藤原 文世	ふじわら ふみよ	女	42
24	22日	金	西秋 光洋	にしあき みつひろ	男	54
25	23日	土	はしの 詩織	はしの しおり	女	27
26	23日	土	江原 桃子	えはら ももこ	女	36
27	24日	日	北原 豊	きたはら ゆたか	男	70
28	26日	火	亀山 栄一	かめやま えいいち	男	26
29	27日	水	石渡 めぐみ	いしわた めぐみ	女	52
30	27日	水	川越 はじめ	かわごえ はじめ	男	20
31	29日	金	宮内 優	みやうち ゆう	男	73
32	29日	金	水野 芽以	みずの めい	女	62
33	29日	金	柏原 晴臣	かしわら はるおみ	男	21
34	30日	土	市川 涼子	いちかわ りょうこ	女	61
35	30日	土	風間 里奈	かざまりな	女	59
36	31日	日	境 華子	さかい はなこ	女	28
37	31日	日	城田 ひろみ	しろた ひろみ	女	30

2. 男女別人数を集計

	A	H	I
1	陶芸		
2	7月		
3			
4	体験日	男女別人数	
5	2日	男性	
6	2日	女性	
7	3日		

①今回は、男女別の人数も集計してみます。
まず、このような表を作っておきます。

=COUNTIF(E5:E37,"男")

COUNTIF(範囲, 検索条件)

F

②CountIf 関数で、人数を求めます。
I5セルを選択し、関数を入力します。

体験者リスト

ふりがな	性別	年齢	男女別人数
さかい ひかる	男	41	男性
はやしだ さちこ	女	70	女性

37,"男")

18

3. 年代別人数を集計

	H	I	J
1	陶芸		
2	7月		
3			
4	体験日	男女別人数	
5		男性	15
6		女性	18
7			
8			
9		年代別人数	年代区別
10		20代未満	19
11		20代	29
12		30代	39
13		40代	49
14		50代	59
15		60代	69
16		70代	79
17		80代以上	

①年代別人数を集計します。まず、左のような表を作っておきます。

「年代区別」は、あとで
Frequency 関数を入力する際に、
関数が参照する部分です。
20歳未満は、19以下なので「19」、
20代は29以下なので「29」・・・
となります。80代以上は、空欄に
します。

②関数を入力する前に、人数を表示させたいセル (I10 から I17) をドラッグして選択します。

年代別人数	年代区別
20代未満	19
20代	29
30代	39
40代	49
50代	59
60代	69
70代	79
80代以上	

③数式バーに、関数を入力していきます。

=FREQUENCY(データ配列、区間配列)

データ配列には年齢のセル範囲、区間配列には、年代区別のセル範囲を指定しましょう。

=FREQUENCY(F5:F37,J10:I17)							
C	FREQUENCY(データ配列, 区間配列)		F	G	H	I	J
本 験 体 験 者 リ ス ト							
名前		ふりがな	性別	年齢	男女別人数		
井 光		さかい ひかる	男	41	男性		15
田 幸子		はやしだ さちこ	女	70	女性		18
川 光良		おいかわ てるよし	男	41			
矢 美咲		まや みさき	女	34			
野 秀隆		おの ひでたか	男	46			
本 優一		すぎもと ゆういち	男	44			
崎くるみ		ながさき くるみ	女	40			
沢 文世		からさわ ふみよ	女	44			
津 早紀		うめづ さき	女	45			
島 未華子		ふくしま みかこ	女	22			
					年代別人数		年代区別
					20代未満	J10:I17	19
					20代		29
					30代		39
					40代		49
					50代		59
							69
							79

④Frequency 関数は、「配列数式」という特殊な関数です。
そのため、入力後にただ Enter キーを押しても反映されませ

④Frequency 関数は、「配列数式」という特殊な関数です。

そのため、入力後にただ Enter キーを押しても反映されません。関数を入力したら、

Ctrl キー+Shift キー+Enter キーで確定することで、関数がきちんと反映されます。

[補足]「数式」タブ→「その他の関数」→「統計」から Frequency 関数を選び、右図のように入力しても OK。
ただし、Ctrl キーと Shift キーを押しながら「OK」をクリックすること。

関数の引数

FREQUENCY

データ配列: F5:F37 = {41;70;41;34;46;44;40;44;45;22;60;22;53;36;}

区間配列: {19;29;39;49;59;69;79} = {19;29;39;49;59;69;79}

= {0;7;5;9;5;4;3;0}

範囲内でのデータの度数分布を、垂直配列で返します。返された配列要素の個数は、区間配列の個数より 1 つだけ多くなります。

区間配列 (にはデータ配列で指定したデータをグループ化するため、値の間隔を配列または参照として指定します。)

数式の結果 = 0

[この関数のヘルプ\(H\)](#)

OK キャンセル

⑤度数分布表ができたなら、それを右図のようなグラフにしてみましょう。

